

引き続き、市政一般を行います。16番、大部初幸君。

○議員（16番 大部 初幸君） おはようございます。先ほど議長より、時間を延長するなという事ですので、私は大幅に短縮しようと思っておりますので、よろしくお願いします。

16番、新政会の大部です。久しぶりの一般質問です。

それでは、通告書に従いまして、2つの質問をさせていただきます。

実は、本当は3つの一般質問だったんですけど、先ほど、義務教育の小中学校のエアコンの設置はできないかについては、小島議員がされるということでしたから、私は取り下げることにしました。

でも、このエアコン設置は、毎年暑さが厳しくなっており、ことしも始業式を1週間おくらせて、熱中症対策をされた学校もニュース等で放送をされていました。

そのような中、島原市、南島原市は全校の小中学校にエアコンを設置すると、9月3日のNHKの放送がありました。エアコンの設置率は、小中学校では全国が49.6%だそうです。これも9月3日のNHKで言っていました。それに比べて長崎は8.6%で、最下位のほうです。何とか努力をされて、対馬市立の小中学校にも1日も早いエアコンの設置を私からもお願いいたします。

それから、一般質問に入る前に、市長にお礼を言わせていただきます。それというのも、平瀬原の公民館の新設の要望は、前の財部市長のときから言い続けて、21年9月の定例会、23年6月、24年6月、27年3月、そして28年9月定例会と5回の一般質問をし、要望をしてきましたが、やっとこの9月の定例議会の予算書に4,060万円の建設事業債が計上されており、安心をしました。

この平瀬原地区は、現在53世帯、約160名を超えた区民が住んでおり、小学生も10名、中学生も4名がいます。高校生は調べておりませんが、毎年のように新築の家が建っており、御両親も若い人が多いので、子供たちもたくさんおります。この平瀬原地区の金丸区長さんを初め地区の人たちも、待ちに待った集会施設の建設には大きな喜びと感謝をされています。お礼を言っておいてくださいとのことでしたので御報告します。本当にありがとうございました。

それでは、一般質問に入らせていただきます。

久しぶりのトイレの大部ですけど、まず1点目の対馬市立の小学校、中学校のトイレの事です。和式から洋式に変えてくださいと要望をしていましたが、どのくらいの進捗状況なのかをお尋ねします。

この質問は、28年9月の定例議会で、現在の和式トイレから洋式トイレに変えていく考えはないかとお尋ねをしていました。小学校に入学したばかりの1年生の女の子が、見たことのない、しゃがんでする和式トイレに泣き出して、先生がついてトイレをさせようと努力してもだめで、

仕方なく親に連絡をとり、学校に来ていただきトイレを済ませた子供もいたそうです。

学校といえば、ことしも台風の影響で大雨洪水災害、崖崩れ災害等が発生しており、避難場所には学校の体育館などが使われていますが、高齢化が進んでいる現在、人間として必要なのがトイレだと思われませんが、しゃがんでする和式トイレは、高齢の方たち、また、足腰をけがされたりしている方たちには非常につらいと思います。

災害は、いつ、どこで発生するかもわかりません。我が対馬においても、そのような災害が起きたときも、トイレは安心して使用できるように、また、高齢者の人たちだけではなく、学校生活の生徒たちも快適な学校生活ができるようにしてほしいのですが、どのくらいの進捗状況なのかをお尋ねいたします。

2点目の65歳以上の世帯主の水洗トイレの維持管理費への助成金はできないかをお尋ねいたします。

私も、5人槽、7人槽と区別するのは、その家庭に住んでいる人間の数だと思っておりましたが、少人数でも家の建坪が大きかったら、7人槽とかに義務づけられていると今回わかりました。

この近年、高齢化と少子化が毎年進み続けております。そういう中、よく話というか、苦情というのでしょうか、家を新築するときは、子供夫婦もおり、孫もいたけど、今は子供たち夫婦は仕事の関係で外に出ています。当然孫たちもいないし、残ったのは老夫婦だけで、トイレの使用も少ない。でも、定期的に浄化槽の点検をしなければいけないし、定期的な保守管理費もかかります。今となつては、簡易水洗にしとけばよかったと、本当に後悔をしているという話を高齢者の方たちが言われます。

簡易水洗だったら、老夫婦だけなら二、三カ月に1回のくみ取りで済むし、1回が3,000円ぐらいとしても、年四、五回、結果的に1万2,000円から1万5,000円もあれば済むけど、水洗トイレは、1年間に維持管理費として6万円ぐらいはかかります。その差額として4万円前後のお金がかかるので、年金生活の私たちには大きな負担ですと言われます。

話を聞けば聞くほど、本当にそうだなと思います。この高齢者たちの負担を少しでも軽減することができないかをお尋ねいたします。

以上です。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 大部議員の御質問にお答えいたします。

私のほうからは、2点目の水洗トイレの維持管理費の助成金のほうについてお答えをいたします。

昨年12月の定例会におきまして同様の質問がございまして、答弁申し上げましたが、県内21市町の中では、浄化槽の維持管理費の補助を行っている自治体は4市町でございます。この

自治体は、公共下水道等の整備が進んでおりまして、条例を制定し、汚水の量に応じて使用料を徴収しております。

しかしながら、家屋が点在している地域や遠隔地の小さな集落、山間部などの地理的条件により整備ができない地域におきましては、合併処理浄化槽への設置補助を行いながら、汚水処理率の向上を推進しております。

このときに、下水道の使用料と浄化槽の維持管理費に差が発生するために、汚水処理に対する費用の均衡化のために差額分を補助しているものであります。

一方、本市の汚水処理の普及率は33%と、県下で3番目に低い状況であることから、まずは衛生的な生活環境への改善に向けて、普及率向上を図ることが最優先と考えております。

近年の汚水処理の現状を申しますと、簡易水洗トイレへの移行とウォシュレットの普及により、くみ取り量も多くなり、し尿処理量もふえております。これに伴い、家庭でのくみ取り料金も高くなってきているようで、聞き取り調査によりますと、年間の平均くみ取り料金は、高齢者夫婦などの2人の世帯では約3万6,000円、親子4人世帯等では約4万8,000円との結果を得ております。

また、浄化槽維持管理費用の年間平均額は、5人槽の場合、約4万4,000円、7人槽では5万2,000円との結果を得ております。この維持管理費は、浄化槽の種類によって異なりますが、住宅の場合、業者が行う浄化槽点検を年に3回以上、清掃を1回以上、浄化槽協会が行う法定点検を年1回実施するよう定められており、これらの経費の合計額となります。

しかしながら、浄化槽の設置条件、汚れの頻度、老朽化などにより、点検や清掃回数がふえてくる場合もあり、維持管理費に幅が生じているのが現状でございます。

市といたしましては、現在、維持管理費の助成を行っている自治体と本市の状況は異なるものであることや、まだまだ浄化槽の普及率が低い中で、一部の設置者にのみ維持管理費の助成を行うことは、公平性の観点からも問題があること。また、くみ取り費用と浄化槽の維持管理費用に差が生じない世帯もあることから、浄化槽の維持管理費への補助につきましては、現状では厳しいものと考えております。

本市においては、この対馬の将来を考える際に、次世代にきれいな故郷を残すことが我々の重要な責務であると考えております。そのためにも、平成23年度から、国の合併処理浄化槽の設置補助に市の上乗せ補助を行ってきております。平成23年度の浄化槽設置件数は39件でしたが、近年では50件を超える設置数までふえてきており、市民皆様の環境美化への意識が高まってきているものと感じております。

今後も浄化槽設置への補助を継続して実施し、汚水処理の普及率を高めていくことが、現在取り組むべき重要事項だと考えております。

私のほうからは以上でございます。

○議長（小川 廣康君） 教育長、永留和博君。

○教育長（永留 和博君） 私のほうから、学校トイレの洋式化の進捗状況についてお答えをいたします。

現在の小中学校の洋式トイレ設置状況ですが、学校全体では最低1カ所は設置をしております。教育委員会では、現在の生活様式の変化で一般的となった家庭での洋式トイレ化に対応すべく、計画的に洋式トイレの整備を図り、校舎の各階ごとに、また職員用トイレ、体育館の男女別に最低でも各1台ずつ設置することを目標として、対馬市学校トイレ洋式化計画を平成29年10月に作成しており、今年度から36年度までの7年間で整備することとしております。

また、今後、学校施設の長寿命化を図るための大規模改造等を実施する場合には、トイレ改修も含め検討してまいりたいと考えております。

進捗状況としましては、9月補正予算に小学校2校の洋式化工事費を計上し、今年度中の完成を見込んでいます。また、小学校3校分の工事設計委託料についても計上しているところです。

本年度は、実施設計との関係から補正予算計上となりましたが、次年度からは当初予算に計上し、早期の工事实施を行い、毎年、3ないし4校の洋式化工事を実施できればというふうを考えております。

市の財政状況も厳しい中ではありますが、児童生徒の学習環境の向上はもとより、災害時の避難場所にも指定されていることから、計画的な整備に努めてまいります。

以上でございます。

○議長（小川 廣康君） 16番、大部初幸君。

○議員（16番 大部 初幸君） まず補助問題ですけども、市長の答弁では理解はできるんですが、今、簡易水洗で年に3万6,000円ぐらいというのは、僕らも簡易水洗ですけど、そこまでは私たちもかかるちゅうことはないですね。大体1カ月半、2カ月で1回が3,000円ぐらいで終わっているんですけど。私も仕事柄とか、動いたときに言われるのが、トイレのことを何回も言うもんですから、そのトイレの話をされる方が多くてですね。

さっき言ったように、年金生活で、さっき市長も言ったように、5人槽と7人槽とも2万ぐらいは違うというのを聞きしていたんですが、そこに簡易水洗との差額が何万もあると。そこで、普通の人の二、三万はそうないでしょうけど、年金生活の私たちの二、三万は大きいんですよ。できれば、そういう形で補助というか、そういう形をとってもらえれば、簡易水洗よりも水洗トイレが清潔感、いろんな意味であるから、水洗トイレへの普及率も上がるんじゃないですかということ、逆に言われるんですね。

市のほうも、水洗トイレにはもちろん補助もしているやないですか。そういう格好で、補助を

幾らでもしてもらえれば、簡易水洗よりも水洗トイレのほうがいいじゃないかということで、せっかく対馬市がそういう取り組みをしても普及率が上がらないというのは、今後は余計に年のいった方が多くなるにつれて低迷するんじゃないですかという話で、私もそのように納得したものですからね。市長の話を聞きながら、頭の中がちょっとこんがらがってるんですけど、市長、そういうとこなんですよ。

それに対して何とか補助を、4市ですかね、今やっているのが、いろんな条件があつてというのは聞いているんですけど。これからの対馬の高齢の進み方というのは、漁民にしても、農民にしても、結構もう10年後、20年後というのは、わかっている数字が出ていますよね。そういう中で、何とかできないかという、厳しいとは思いますが、そこを何とかできないかという意見ですので、ひとつ考えてみてください。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 議員さんのおっしゃられることは、私も理解するところではありますけども、答弁の中でもちょっと申し上げましたように、長崎県内の他の4市町が補助しているのは、あくまで、例えば阿連みたいな漁業集落排水、そういったところに含まれない範囲の世帯については、単独で合併処理浄化槽をするようになります。そういったところにつきましては、合併処理浄化槽の管理費のほうが公共下水道やら、そういった集落排水の管理費よりも高くなるようになるものですから、その合併処理浄化槽の維持管理費から下水道の使用料を差し引いた金額を補助しようということで、長崎県内の他の自治体では補助制度がなされているような状況でございます。

そういうことで、対馬市のほうも、私たちもそのいろんな状況を調べてみたんですけども、今、高齢者世帯はくみ取り料金が平均で3万6,000円、一般世帯が年間4万8,000円と申し上げました。これが、浄化槽の5人槽では管理費がどんだけかかっているかというところを調べてみますと、浄化槽の5人槽では、最低が3万1,700円、最高が6万9,800円でございます。

7人槽におきましては、最低3万7,173円、最高が7万4,120円となっております、実は、この高齢者の3万6,000円のくみ取り料金よりも、むしろ最低のほうでは、5人槽においては安い世帯もあるし、7人槽においても3万6,000円と、約3万7,000円と、同じような料金となっているというようなことから、今回、このようなことを総合的に勘案してみますと、公平性を保つためには、ここに対しての助成は難しいだろうというような判断に至ったところであります。

以上でございます。

○議長（小川 廣康君） 16番、大部初幸君。

○議員（16番 大部 初幸君） ちょっと自分としては理解しにくいところが、簡易水洗で年間3万6,000円。2人だけやったらそんなにかからないと思うんですけど、そちらで資料を調べてあるんでしょうけど、自分の家庭を振り返ったら、正直かかりませんね。

そういうところもあるんでしょうけど、そういう中で、今市長の説明を受けていると、納得できるというか、そういうふうやったら、高齢者の方たちも負担するべきしなは負担していかなくちゃいけないし、また、きょうの市長の答弁を聞いて、それまで私たちも知らなかったです。知らないから、こういう一般質問をさせて、要望させてもらっているんですけど、きょうの市長の答弁を見たり、聞かれたりした人たちは理解できると思います。無理なことを言って、市長困らせてもどうしようもないから、この分はそのような形で私も理解させていただきます。

それから、教育長のほうですけど、この学校のトイレ問題ですけども、実は地元の私の大船越の運動会のときに、小さい3歳の女の子、孫なんですけど、トイレに連れて行ったんですよ。もちろん最初は女性のほうに行くんですけど、なかったんですね。仕方ないから男性用に行ったんですよ。男性用も見つからなかったんですよ、そのときはですね。

教育委員会のほうから、地元の大船越も洋式は1つずつ、中学校のほうに入れていきますということだったもので、おかしいなと思って、また再度行ってきたんですよ。そしたら、地元の中学校の教頭先生が、地元に来られてまだ浅いということで、用務員さんと女の先生と教頭先生が、こういう形で行ったんですけど、トイレ洋式ありますかと言ったら、教頭先生もないと言われたんですよ、最初。

おかしいよねということでトイレに行ったら、もちろん女性用は女の先生がこうして行ったら手前にありました。男性用も、絶対あれわからないですよ、知らない人は。もともとあれは掃除道具入れの個室というか、そういうところを洋式にしているんじゃないかと思うんですよ。形も全く全然違うのと、ドアのノブも、今度、教育長見られたら、これかなちゅうことで、丸っこい、全然トイレってわからないです。教頭先生がわからんちゅうたぐらいですから。ないですよというぐらい。

一つ一つ調べて、引っ張ったら手前に、その掃除道具入れみたいなのに洋式があったんです。間違いなく、だから、教育長言うように1個は、1つは、入っとるんだなということは理解しました。そのとき私も、当初一般質問書出したとき、地元で1個も、1つもないということは、地元議員として、また要望しながら、これはいかんねちゅうことで、再度これ質問させてもらったんですけど、さっき言ったように、教育委員会のほうからしていますということで、まず確認はしました。

でも、さっき私も言ったように、テレビなんかでずっと、ことしは特別ひどい災害が出るとやらないですか。ニュースの陰でずっと出ているのが、トイレに皆さん不自由してあるですもんね。

もちろんあれだけの人間ですから、全てに使われるちゅうことは難しいでしょうけど、だから、対馬においても、今1つずつということですけど、聞けば2校またふえるということですけど、いつこういう災害が起きるともわかりませんので、こういうのは、教育長、予算も説明でわかりますよ、自分も議員しているからですね。そういう中で、もう少し進捗を早めるというようなことはできないんですかね。ひとつお願いします。

○議長（小川 廣康君） 教育長、永留和博君。

○教育長（永留 和博君） まず、大船越中学校のトイレの件ですけれども、外部の人が行かれたときには、表示がなくてわかりにくかったんだろうと思います。それで、この前の校長会において、全部の学校に、ここが洋式トイレですよということがわかるような表示をするように指示はいたしました。

それから、災害等を控えての洋式トイレの設置についてですけれども、できるだけ早くするにこしたことはないと思います。あと、予算との絡みもありますので、7年計画を今やっておりますので、これで進めていくしかないんじゃないかなというふうに今考えております。

○議長（小川 廣康君） 16番、大部初幸君。

○議員（16番 大部 初幸君） 今教育長が言われた答弁でわかったんですけど、あれ本当わからなかったんです。だって、来られた教頭先生が、もう二、三カ月はなると言っておられましたけど、ないというぐらいの説明をぼんと言われたぐらいです。言ったように、全然トイレの格好やなかったから、そういうふうで洋式トイレというのを書けば誰しもわかることですけど、トイレに行ったときにドアをずっとあけまくるわけにもいかんし、ちょっとそこんところが私もありました。教育長がそういう答弁されましたので理解できます。

こういういろんな災害等が起きている日本ですので、1日も早いトイレの数がふえるように。これはあれですか、生徒数の多い学校から数を多くしていつているんですかね、どうなんですか。

○議長（小川 廣康君） 教育部長、須川善美君。

○教育部長（須川 善美君） 私のほうから御説明をさせていただきたいと思います。

先ほど教育長のほうから答弁の内容で説明をさせていただきましたけども、まず数の少ないところ、そういったもので、校舎の各階にまず設置をして、それと職員用トイレとか、あと体育館の男女別に、最低でも各1台ずつを設置していこうということで。

トイレの洋式をふやしますと、どうしても個数が減ってしまうということが出てまいりますので、生徒の人数とは直接は関係もしますけども、そういう設備の少ないところから先にやっっていこうということで計画を進めていっています。

○議長（小川 廣康君） 16番、大部初幸君。

○議員（16番 大部 初幸君） ということは、生徒が多い少ないは余り関係ないというような

理解でいいんですかね。

○議長（小川 廣康君） 教育部長、須川善美君。

○教育部長（須川 善美君） ある程度、生徒の数も当然反映はさせなくてはいけないとは思っております。ただ、洋式の設置数の数が必要になってまいりますので、そこら辺を考慮しながら前に進めればなということっております。

○議長（小川 廣康君） 16番、大部初幸君。

○議員（16番 大部 初幸君） はい、わかりました。7年間計画で洋式化に進めていくという教育長の答弁ですので、皆さん、和式を好む人ちゃそんなに少ないと思いますので、1日も早いそういう設置率をお願いいたします。

時間は20分ありますけども、これで時間短縮をして終わらせていただきます。ありがとうございました。

○議長（小川 廣康君） これで、大部初幸君の質問は終わりました。

○議長（小川 廣康君） 昼食休憩といたします。再開は午後1時ちょうどからといたします。

午前11時39分休憩

午後1時00分再開

○議長（小川 廣康君） 再開します。

午前に引き続き、市政一般質問を行います。6番、吉見優子君。

○議員（6番 吉見 優子君） 一般質問をする前に、この日本列島に次々に襲った台風や地震に見舞われ、亡くなられた皆様の御冥福をお祈りするとともに、また被害に遭われた皆様に、心からお見舞い申し上げます。

では、今から通告に従いまして一般質問をいたします。

1点目は、観光名所地の環境整備についてですが、万松院の駐車場及び旧金石城跡地周辺の環境整備についてお尋ねいたします。

この一帯は、万松院と旧金石城と合わせて、旧金石城庭園と清水山城が文化財の国指定となっております。この文化財の国指定が4カ所続いているところは、全国的に見ても大変珍しいことだと思いますが、その国指定の旧金石城のシンボルである石垣は、草が覆いかぶさり、石垣は見えません。また、その周辺に樹木も茂って、カズラが巻きついている状態です。対馬で一番であろう対馬の城下町として、観光地跡がこのような状態であるのがすごく恥ずかしい思いでいっぱいでございます。

2点目の質問は、空き家対策についてでございます。